

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」及び 平成24年度面接調査（一般）の実施状況

1 平成23年度 調査票回答状況及び支援状況

(1) 回答状況

平成24年10月31日現在の回答状況と要支援率

区分	調査対象者数	回答数	回答率	要支援者数※1	要支援率
子ども	29,585	18,743	63.4%	1,294	6.9%
一般	180,604	73,568	40.7%	3,463	4.7%
合計	210,189	92,311	43.9%	4,757	5.2%

※1 要支援者

子ども：健康状態が悪く（各区分、問1）、SDQ（子どもの行動）が20点以上に該当する方。なお、欄外記載より、支援が必要と判断された方も含む。

一般：健康状態が悪く（問1）、K6（全般精神健康度）が20点以上またはPCL（トラウマ症状）が70点以上に該当する方。なお、欄外記載より、支援が必要と判断された方も含む。

(2) 支援状況

① 電話による支援（平成24年10月31日現在）

ア) こころのケア

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、臨床心理士（3名）等が電話をかけ、こころの健康に関する問題について、支援を行っている。

なお、次に掲げる支援状況1～3における要支援者のうち、電話支援が終わっていない方は、電話番号の記載がないか不備があった方、あるいは不在の方のみ。不在であった方に対しては、それぞれ2～3回、時間帯を変えて電話をしている。

支援状況1：上記要支援者に対する支援状況

区分	回答数	要支援者数	要支援率	支援件数	支援済率
子ども	18,743	1,294	6.9%	1,158	89.5%
一般	73,568	3,463	4.7%	2,673	77.2%
合計	92,311	4,757	5.2%	3,831	80.5%

電話番号の記載がない方や電話時に不在の方等、電話支援ができていない方に対し、現在の状況を確認するための返信用ハガキ付きの文書を送付した。ハガキによる回答の中で現在の健康状態と電話支援の要否についてお知らせいただき、必要に応じて電話支援を実施している。

なお、電話支援件数には、ハガキによる回答で電話相談の希望がなかった方も含まれている。

支援状況2：体調が悪く（問1）、PCL 65～69

（ただし、「支援状況1」における支援対象者は除く。）

区分	回答数	支援対象者	要支援率	支援件数	支援済率
一般	73,568	759	1.0%	447	58.9%

電話番号の記載がない方や、時間を変えて電話しても出られなかった方に対し、こころの健康度・生活習慣に関する調査の専用ダイヤルを相談窓口の一つとして案内した。

支援状況3：体調が悪く（各調査票の問1）SDQ、K6、PCLで先行研究における基準点（SDQ：16点、K6：13点、PCL：44点）を越えた方 （ただし、「支援状況1」「支援状況2」における支援対象者は除く。）

相談窓口として、こころの健康度・生活習慣に関する調査専用ダイヤルをご案内するとともに、現在の健康状態や電話相談の要否を確認するため、返信用ハガキ付きの文書を送付した。

区分	状況確認文書 送付対象者数	返信数	返信率	要支援者数※2	支援件数	支援済率
子ども	1,066	394	37.0%	36	19	52.8%
一般	10,898	4,967	45.6%	1,145	885	77.3%
合計	11,964	5,361	44.8%	1,181	904	76.5%

※2 電話相談を希望する方及び電話相談の要否について記載がなく、返信用ハガキのアンケートで体調が良くないと答えている方。

イ) 生活習慣に関する支援（「一般」のみ対象）

保健師や看護師（計6名）が調査票の内容を一定の基準により確認し、支援が必要と思われる方に対して電話をかけ、生活習慣病予防や生活支援に関する問題について支援を行っている。

区分	回答数	支援対象者	要支援率	支援件数	支援済率
一般	73,568	3,351	4.6%	2,255	67.3%

② 文書による支援（情報提供）

ア) こころのケア

支援状況1・2：電話番号の記載がなかったり、時間を変えて電話をしても不在だった方に対しては、文書をお送りする際に、相談窓口として「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルをご案内するとともに、災害を経験した方、家族や友人を支える方向けの心のケア手帳「ほっと安心手帳」（内閣府作成）を送付した。

支援状況3：状況確認のための文書を送付する際、相談窓口として「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルをご案内するとともに、災害を経験した方、家族や友人を支える方向けの心のケア手帳「ほっと安心手帳」（内閣府作成）を送付した。

イ) 生活習慣に関する支援

支援対象者全員に、生活習慣病予防に関するパンフレットを送付するとともに、相談窓口として、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルをご案内した。

2 平成24年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」進捗状況等

(1) 面接調査（一般）の進捗状況

① 安達運動場仮設住宅

ア) 実施日：平成24年10月26日（金）～28日（日）

イ) 面接調査実施者数：45名（対象者数：395名）

ウ) 同時開催：よろず健康相談（参加者：9名）

リラックス体操（参加者：8名）

基本調査問診票書き方相談

② 牛越応急仮設住宅

ア) 実施日：1回目 平成24年11月2日（金）～ 4日（日）

2回目 平成24年11月9日（金）～11日（日）

イ) 面接調査参加予定者数（10月31日時点）：83名（対象者数：548名）

ウ) 同時開催（予定）：よろず健康相談

リラックス体操

基本調査問診票書き方相談

(2) 面接調査（子ども）について

子どもを対象とした面接調査についても、現在実施へ向けて調整中。

(3) 質問紙調査について

平成23年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果を踏まえ、引き続き質問紙による調査を実施し、「見守っている」、「支援している」という強いメッセージを継続的に発するとともに、状況の変化やその要因を把握することにより、さらなる支援につなげる。

また、支援が必要と思われる回答者を対象に電話支援を行うとともに、市町村、福島県保健福祉事務所、ふくしま心のケアセンターとともに、地域における支援体制の充実を図る。

昨年度の調査結果を踏まえ、より適切なものとなるよう検討中。実施時期は、平成25年1月の予定。

【参考資料】平成23年度調査における基準点数の分布状況について

<子ども>

項目	基準点数	先行研究における分布	本調査開始時 (約 1,100 件)	2月3日現在 (約 12,600 件)	6月30日現在 有効回答数 ※5 (13,987 件)
SDQ (子どもの行動)	16点以上	9.5% ※1	約30%	約18%	21.5% ※5

<一般>

項目	基準点数	先行研究における分布	本調査開始時 (約 1,100 件)	2月20日現在 (約 35,300 件)	6月30日現在 有効回答数 ※5 (K6 : 64,679 件) (PCL : 67,474 件)
K6 (全般精神健康度)	13点以上	3.0% ※2	約30% ※4	約24% ※4	14.8% ※5
PCL (トラウマ症状)	44点以上	20.1% ※3			21.3% ※5

※1 日本における地域の4-12歳の子ども

Matsuishi et al. Scale properties of the Japanese version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ): A study of infant and school children in community samples. Brain & Development 2008;30:410-415.

※2 日本における地域住民

川上憲人. 全国調査におけるK6調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金(統計情報高度利用総合研究事業)国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書

※3 米国におけるニューヨークテロ後の作業員における頻度

Stellman, et al. (2008) Enduring mental health morbidity and social function impairment in World Trade Center rescue, recovery, and cleanup workers: the psychological dimension of an environmental health disaster. Environ Health Perspect. 2008 Sep;116(9):1248-53.

※4 K6が13点以上又はPCL44点以上のいずれかに該当する方。

※5 暫定値であるため、今後報告する数値と差を生じる可能性があります。